



## (第10期) 第14回まつもと子ども未来委員会の報告

3月9日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。  
この日は、委員30人と大学生サポーター2人が参加しました。

### 1 修了式

第10期の修了式は、自分たちで企画し、進行を決めました。自分たちのための会を、自分たちで考え、運営しました。いつもより早く集合し、打ち合わせを重ね、高校生と中学生が中心となって準備を進めました。第10期の活動を振り返るスライドを見ながら、BGM係が準備した音楽が流れる中、最後の確認を行いました。その結果、未来委員会らしい式になりました。

松本市こども育成課長から第10期まつもと子ども未来委員会修了証が授与されました。

その後、こども育成課長から「一年間、未来委員会の活動お疲れさまでした。皆さんがまちづくりに興味を持ち、学んでくれたことをうれしく思います」というお話がありました。



### 2 お楽しみ

レク係を中心に、みんなで「知域王～松本版～」のカードゲームを楽しみました。ゲームを紹介してくれた委員が、PowerPointを使ってルールを説明した後、7つのグループに分かれて遊びました。より楽しめるよう、同じくらいの年齢ごとに分かれ、小学生・中学生・高校生のグループで対戦しました。

松本版ということもあり、ゲームには身近な松本城や城下町に関するイベント、歴史、建物、食べ物が登場しました。高得点を狙うには松本城のカードを集めたほうがよいとのことで、多くの子どもたちが松本城を集めようとしていました。(カードの左上には、文字やマークが付いています。)

小学生はカードを集めることに夢中になり、高校生は戦略を



立てて対戦する姿が見られました。どの年齢でも楽しめるカードゲームでした。

1回目のゲームが終わったグループは、2回目のゲームをしたり、カードの写真やイラストを見て「これ、おいしそう!」と話したり、自分の気になるカードについて同じグループの友だちと会話を楽しんでいました。

カードを貸してくださった松本青年会議所様、ありがとうございました。今回のゲームを通じて、松本の魅力を改めて知ることができました。

### 3 高校3年生より一言

第14回未来委員会に高校3年生が8人参加してくれ、1人ずつ話をしてもらいました。活動期間は1年から8年と差がありましたが、それぞれの活動を振り返り、感想を話してくれました。



「高校生になると大人と接することが多くなる中で、小中学生と触れ合うことができてよかった。小中学生と話すことで刺激をもらった。」

「緊張せず、はきはきと話せるようになった。」

「活動を始めた頃と比べると、自分が天と地ほど違うと感じる。」

このような感想を話してくれました。



一年間  
お疲れさまでした